北九州工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	音楽

科目基礎情報

科目番号	0007	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	生産デザイン工学科（電気電子コース）	対象学年	1
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	「音楽Ⅰ Tutti〈改訂版〉」教育出版		
担当教員	土生 ひと美		

到達目標

音楽のいろいろな活動を通じて豊かな音楽表現の能力を伸ばすとともに、音楽を理解する能力を育て、音楽を愛する心情を養う。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	理論において、各項目をすべて理解できる。	理論において、各項目を６割程度理解できる。	理論において、各項目を理解できない。
評価項目2	鑑賞において、歴史的背景・楽曲の形式・演奏形態をすべて理解して、聴くことができる。	鑑賞において、歴史的背景・楽曲の形式・演奏形態に留意して、聴くことができる。	鑑賞において、歴史的背景・楽曲の形式・演奏形態に留意して、聴くことができない。
評価項目3	表現(歌唱)において、詩・音楽・音・リズムをすべて理解して歌うことができる。	表現(歌唱)において、詩・音楽・音・リズムに留意して歌うことができる。	表現(歌唱)において、詩・音楽・音・リズムに留意して歌うことができない。
評価項目4	表現(器楽)において、曲の特徴を把握し、表現を工夫し、高度な技術が必要な曲を演奏できる。	表現(器楽)において、曲の特徴に留意して演奏できる。	表現(器楽)において、曲の特徴に留意して演奏できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	音楽のいろいろな活動を通じて豊かな音楽表現の能力を伸ばすとともに、音楽を理解する能力を育て、音楽を愛する心情を養う。
授業の進め方・方法	表現と理論と鑑賞は関連づけて行う。 理論は基礎理論の復習を行った上で、進めていく。
注意点	授業に必要なもの(リコーダー等)を学生が持参しているかどうかに留意する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	表現(歌唱)	発声の基本を学習する。
		2週	表現(歌唱)	歌詞や曲想について理解させ、詩と音楽の関わりについて考える。
		3週	表現(歌唱)	様々な歌を通じて歌うことへの態度・意欲を育成する。
		4週	表現(歌唱)	様々な歌を通じて歌うことへの態度・意欲を育成する。
		5週	理論	音符・音名・変化記号・拍子などの基礎理論を復習する。
		6週	理論	音程の構造を理解する。
		7週	理論	音階の構造を理解する。
		8週	理論	コードネームの構造を理解する。
	2ndQ	9週	表現(笛)	笛の基本的な奏法を身につける。
		10週	表現(笛)	視奏力の向上を図る。
		11週	表現(笛)	視奏力の向上を図る。
		12週	表現(笛)	曲の構成や曲想を把握した表現を工夫する。
		13週	鑑賞	音楽の形式や音楽用語を理解する。
		14週	鑑賞	音楽の特徴を歴史的背景と関連付けて理解する。
		15週	鑑賞	楽曲成立背景や形式を理解し、内容を聴き取る能力を養う。
		16週	期末試験	１～１５週の内容を網羅した試験により、学習内容の定着を図る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	期末試験	実技試験（歌唱）	実技試験（器楽）	課題	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	25	25	20	0	0	100
基礎的能力	30	25	25	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0